【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年6月24日(2025.6.24)

【国際公開番号】WO2024/079844
【出願番号】特願2024-550995(P2024-550995)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ １０/０８７(2023.01)
Ｇ０６Ｑ １０/０６３１(2023.01)
Ｇ０６Ｑ １０/０８３５(2023.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ １０/０８７
Ｇ０６Ｑ １０/０６３１
Ｇ０６Ｑ １０/０８３５

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月2日(2025.4.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
交渉相手である交渉主体との間で行われる交渉において、前記交渉主体から提供された、複数の第１の期限を含む第１の合意候補案を取得する合意候補案取得手段と、
前記第１の合意候補案に合意すべきか否かを判定する判定手段と、
を含む、交渉装置。
【請求項２】
前記交渉主体に対して提供するための、複数の第２の期限を含む第２の合意候補案を生成する合意候補案生成手段と、
前記第２の合意候補案を、前記交渉主体に対して提供する合意候補案提供手段と、
をさらに含む、請求項１に記載の交渉装置。
【請求項３】
前記合意候補案取得手段は、前記第１の合意候補案および前記第２の合意候補案を比較可能な態様で表示装置に表示する、
請求項２に記載の交渉装置。
【請求項４】
前記合意候補案生成手段は、前記第１の合意候補案を編集する操作に基づいて、前記第２の合意候補案を生成する、
請求項３に記載の交渉装置。
【請求項５】
前記判定手段は、
前記第１の合意候補案の効用と、前記交渉主体に対して次に提供する予定の第２の合意候補案の効用と、の比較結果に基づいて、前記第１の合意候補案に合意するか否かを判定する、
請求項１から４の何れか１項に記載の交渉装置。
【請求項６】
交渉相手である交渉主体との間で行われる交渉において、前記交渉主体に対して提供するための、複数の期限を含む合意候補案を生成する合意候補案生成手段と、

前記合意候補案を前記交渉主体に対して提供する合意候補案提供手段と、
を含む、交渉装置。
【請求項７】
コンピュータが、
交渉相手である交渉主体との間で行われる交渉において、前記交渉主体から提供された、複数の第１の期限を含む第１の合意候補案を取得することと、
前記第１の合意候補案に合意すべきか否かを判定することと、
を含む、交渉方法。
【請求項８】
コンピュータが、
交渉相手である交渉主体との間で行われる交渉において、前記交渉主体に対して提供するための、複数の期限を含む合意候補案を生成することと、
前記合意候補案を前記交渉主体に対して提供することと、
を含む、交渉方法。
【請求項９】
コンピュータを、
交渉相手である交渉主体との間で行われる交渉において、前記交渉主体から提供された、複数の第１の期限を含む第１の合意候補案を取得する合意候補案取得手段と、
前記第１の合意候補案に合意すべきか否かを判定する判定手段と、
として機能させる、プログラム。
【請求項１０】
コンピュータを、
交渉相手である交渉主体との間で行われる交渉において、前記交渉主体に対して提供するための、複数の期限を含む合意候補案を生成する合意候補案生成手段と、
前記合意候補案を前記交渉主体に対して提供する合意候補案提供手段と、
として機能させる、プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２９】
優先度の異なる複数の合意候補案の一例について、図１８および図１９を参照して説明する。図１８は、交渉装置１０が商品の発注側である場合において、優先度の異なる複数の合意候補案ＡＩ－Ｂを生成するアルゴリズムの一例を示す図である。図１９は、図１８に示したアルゴリズムで生成した複数の合意候補案ＡＩ－Ｂの一例を示すグラフである。この例では、優先度は、ヒューリスティックに定められている。図１８において、９行目は、安全リードタイム（ＳＬＴ$_p$）および最小安全在庫量（ＭＮＳ$_p$）の何れも考慮しない累積必要量を示す。１０行目は、安全リードタイムを考慮し最小安全在庫量を考慮しない累積必要量を示す。１２行目は、安全リードタイムおよび最小安全在庫量を考慮した累積必要量を示す。１６行目は、サプライヤＢによる累積提案量Ｕ－Ｂを示す。２０行目は、第１優先度の合意候補案ＡＩ－Ｂを示しており、安全リードタイムおよび最小安全在庫量の双方を考慮した累積必要量を参照して生成される。２２行目は、第２優先度の合意候補案ＡＩ－Ｂを示しており、安全リードタイムを参照するが最小安全在庫量を考慮しない累積必要量を参照して生成される。また、２４行目は、第３優先度の合意候補案ＡＩ－Ｂを示しており、安全リードタイムおよび最小安全在庫量の何れも考慮しない累積必要量を参照して生成される。なお、この例のアルゴリズムでは、第１優先度、第２優先度、第３優先度の各合意候補案ＡＩ－Ｂは何れも、最大安全在庫量（ＭＸＳ$_p$）および標準発注単位量（ＳＰＱ$_p$）を考慮して算出されている。